

意見交換会の概要

【参加者】後期高齢者を対象とした、物品等を購入できるチケット制度、償還払い制等出来ないか。

【委員】 意見として賜る。

【参加者】市立病院について、2年連続10億円の欠損金がある。原因は受診者数の減少だと考えている。議会としての対応策を問う。

【委員】 受診者数の減少は、急性期病院として地域医療構想に基づいた経営の結果だと考えている。赤字経営について議会として経営改善を求めている。市立病院は前年度と比較して3,000名以上の受診者増であったが、収益に結びつかなかった。その点議会として問題視している。

【参加者】回答に納得できない。更なる対応を強く求める。

【司会】 意見として賜る。赤字について補足する。病院が公営会計を導入してから欠損金が増額した。医業収入比率向上については、成績の良い他の自治体の例を参照しながら茅ヶ崎市立病院の収支改善を求めていく。また、病床の回転率の向上は、看護師確保が重要である。議会として病院経営をしっかりと監視していく。

【委員】 受診者数が減少している人間ドックの廃止を個人的に訴えている。又、経営形態を独立行政法人や民間委託などに変えていかなければならないとも考えている。

【参加者】第3回定例会での議会のチェック機能強化について、請願の対応に失望している。今後の改善を要望する。

【司会】 意見として賜る。

【参加者】道の駅整備事業の延期について問う。

【委員】 公共用地取得には相手が居るので延期は仕方無いと考えている。延期期間は事業計画再考できる時間として前向きにとらえている。

【参加者】議会報告会開催の周知、啓発が不足しているのではないか。

【委員】 真摯に受け取りたい。

【議会事務局】 広報ちがさきに掲載する時期が遅かったことについてお詫びする。

【参加者】仮設校舎で10年以上経過している北陵高校について、議会として速やかに対応すべきである。

【司会】 意見として賜る。

【参加者】柳島スポーツ公園をPFIで運営していくメリットについて問う。これは事業者のメリットが大きいのではないか。

【委員】 バリューフォーマネーの説明が行政からあった。

【参加者】バリューフォーマネーについて議会は様々なシチュエーション等を勉強すべきではなか

ったのか。

【委員】 行政からの説明は2回行われ、1回目の資料は回収され2回目の資料は手元にある。